



●日本風景街道活動計画 ～【日本風景街道】と【道の駅】の連携～

開催報告

- ① 日本風景街道(飛越交流～ぶり・ノーベル出世街道)と道の駅(細入)が連携し地元と協働でイベントを開催
- ② 道路に関するパネル展示やDVD放映、さらには、除雪車試乗などで役割を効果的にPR

1. 取り組みの概要

■ 開催結果

H27.7.11(土)9:00～14:00に道の駅 細入へ県内外から約2,100人が訪れ、らっきょう体験掘りなどを満喫した。(H26は約1,500人)



らっきょう畑の様子 細入産らっきょう モンキーダックとの触れ合い

■ 日本風景街道 飛越交流～ぶり・ノーベル出世街道～

国道41号線の富山～高山の区間「ぶり・ノーベル出世街道」について歴史や見どころ箇所、国の登録有形文化財である笹津橋の紹介、今後整備する猪谷橋(仮)模型展示なども行ない来訪者が関心を寄せていた。



～ぶり・ノーベル出世街道～紹介パネル

■ 道路に関するパネル展示

道路の役割と必要性を広く知って頂くため事業概要以外にも幅広く道路に関するパネル展示やDVD放映を行った。(地元幼稚園工作も展示)



道路整備効果説明パネル

地元幼稚園児工作展示

DVD放映

2. 評価

■ 除雪機械の展示・試乗コーナー

普段目にする事の無い除雪機械を間近で見ることができ、高い運転席から試乗体験できるため、多くの親子づれが訪れ記念写真を撮影していた。



試乗を楽しむ親子連れ

■ 管理施設の有効活用

除雪ステーションをらっきょう体験掘りイベントの待合スペースとして利用し、今年は新しい試みとしてステーション内で地元の高校生がクイズ大会を行った。(お題:らっきょう祭り・畑を荒らす動物を追い払う犬「モンキーダック」・国土交通省)



クイズ大会

■ 道路情報板を活用した広報の展開

国道41号の道路情報板にイベント情報を表示することで道路利用者にイベントの開催をPRし、来訪者の増加に貢献することができた。



イベント情報を掲載した道路情報板



3. 今後の取り組み方針

- より効果的でタイムリーな展示配列を検討し、本企画を継続する。
- 今後も豊富な地域資源を活用したイベントを行い、本ルートを通年的な魅力を発信していくことを検討。
- さらに地域的に結びつきの強い飛騨・高山地域との交流を活性化させ、ルート全体に取り組みを拡大